

前回の報告にも書きましたが、今年の第51回国際数学オリンピック大会（IMO）は7月6日から13日までカザフスタンの首都アスタナで開かれました。アスタナは緯度が結構高く（札幌より北）朝晩はかなり冷えたそうです。それに先だって Jury 会議が3日、4日、5日と開催され、これは中国国境に近いアルマトイで行われました。アスタナーアルマトイ間は札幌ー東京間位あり、当然移動は航空機ということになります。問題漏洩防止のためとはいえ、Jury 会議の場所と開会式会場がこんなに離れているのは初めての経験です。さらに開会式はアスタナで、コンテスト会場はアスタナから約300km、バスで7時間のバルダーンというところで、朝3時にアスタナ出発という過酷な条件でした。これは全ての参加選手が同じ条件とはいえ、首をかしげる設定だと思います。

参加国数 96, オブザーバー国 1, 参加選手数 517で地理的条件のためか、昨年のドイツ大会より少し減りました。

日本の各選手の成績は以下の通りです。

金メダル 岸川 滉央 久留米大学附設高等学校 3年（2009年も金メダル）

金メダル 井上 秀太郎 灘高等学校 3年

銀メダル 北村 拓真 灘高等学校 1年

銀メダル 越山 弘規 甲陽学院高等学校 2年

銀メダル 清水 元喜 灘高等学校 2年

優秀賞 久良 尚任 聖光学院高等学校 3年

20位までの国別順位は以下の通りで、日本は7位でした。

1. 中国
2. ロシア
3. アメリカ
4. 韓国
5. カザフスタン
5. タイ
7. 日本
8. トルコ
9. ドイツ
10. セルビア
11. ベトナム
11. イタリア
13. カナダ
13. ハンガリー
15. オーストラリア
16. ルーマニア
16. イラン
18. ペルー
19. 台湾
20. 香港

昨年は2位でしたが、3年生が5人おり、したがって今年は IMO 初出場者が5人でしたので良く頑張ったと思います。7位というのは2006年と同成績です。

今年は大小取り混ぜてハプニングがいくつかあり、例年選手たちは日本語と英語の問題を渡されるのですが、初日北村君が英語の問題しか渡されず、抗議したが結局認められなかったとか、一日の中での温度差が大きく、役員も含めてかなりの人数が体調を崩したようです。

また帰国時に5人（役員2人，生徒3人）がオーバーブッキングのため飛行機に乗れず，本来なら7月15日早朝到着の予定が乗れなかった5人は16日の夜ウィーン経由ではなく，北京経由で帰国という大ハプニングがありました．残った役員の方には大変な苦勞をかけました．

8月22日より清里に来て夏季セミナーを行っています．清里での夏季セミナーは今年で4度目ということになり，宿のヴィラ千ヶ滝の方も承知してきてセミナー用の白板とか色々な道具を十分そろえていただき，快適なセミナーをやっています．8月下旬になると昼は暑くとも，夜は肌寒さを感じるくらいです．24日，25日，26日の3日間の午前中は名大，千葉大，阪大から3人の先生に来ていただき，講義をしていただきました．さらに10個のセミナーが成立して午前，午後，夜とセミナーをし，また合間にゲームなどをして遊んでいます．セミナーが終われば，また全国に散らばり，来年の予選，本選に向けて頑張ってくれることと思います．